

<学校教育目標> 一人一人の子どもを大切にする「養徳教育」の推進

# 養徳だより ADVANCE



評価特集号  
平成29年3月1日

京都市立養徳小学校  
校長 中野 喜夫

京都市左京区田中上大久保町24番地 TEL 075-721-6623 FAX 075-721-6624

養徳小学校では、児童・保護者・教職員対象に、年間2回学校評価を実施しています。前期（10月実施）の評価結果は、学校ホームページにて公開しております。

今回2月に実施しました後期評価は、前期実施のアンケート項目と同じ内容で前期の結果と比較しながら考察したことをお知らせいたします。

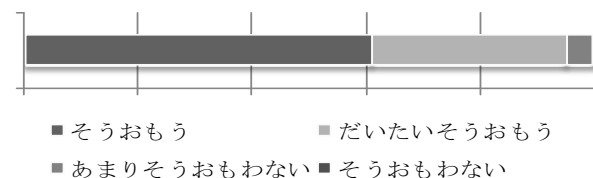
## <児童アンケートより>

18項目の質問事項に答える形のアンケートを実施しました。

◇ 前期結果より適合度が上昇しているもの

・「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちを言葉で伝えている。

「ありがとう。」「ごめんなさい。」の気持ちを  
ことばでつたえている。



自分から進んであいさつをすることを繰り返し指導し、子どもたちから元気のよいあいさつをする姿を目にすることが多くなりました。

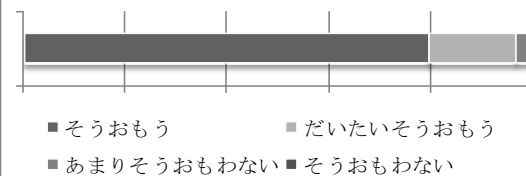
あいさつは、人と人を結ぶ言葉であることを折に触れて話すとともに、実生活において、あいさつを交わすことによる効果や気持ちよさを実感したためであると考えます。

・前期・後期ともに、「通学路を歩いて安全に気をつけて登下校している。」の項目は高く、子どもたち自身がもつ安全への意識は高いといえます。

校区では、多くの方々の温かい見守りを受け、子どもたちは安心して登下校しています。

今後も引き続き、安全指導に力を入れて取組を進めていきたいと考えております。

つうがくろをとって  
あんぜんに気をつけて  
とうげこうしている。



## <保護者による学校アンケートより>

14項目の事柄についてお尋ねしました。

前期に比べて、大きく4項目が上昇しています。

- ・子どもには、基本的な生活習慣が身に付いている。
- ・親子の対話など、親子の時間をとっている。
- ・子どもには、家庭学習の習慣が付いている。
- ・子どもには、家庭の役割（お手伝い）が決まっている。

これらは、1.2～1.3ポイント前期より上回りました。

家庭での生活習慣が定着し、限られた時間の中でも、子どもたちと対話をする時間をつくっていただいていること、また、家庭で学習の時間が決められ、さらにお手伝いすることも決められているという家庭で充実した時間を過ごしていることが分かります。今後もこのような家庭での決め事を継続させることを願っています。

でも、反対に前期より若干下降した項目が1つだけありました。それは、「子どもは、朝読書や読み聞かせを通して読書の楽しさを味わっている」です。ほんの少しの下降ですが、ぜひとも家庭で読書習慣が身に付くように、週1回“No TV day”をつくっていただくなど、試みていただければと思います。



## <教職員アンケートより>

教職員アンケートでは、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「保護者・地域との関わり」の4つの領域42項目の質問事項がありました。すべての項目で前期を上回る結果が出ています。その中でも上昇率が高かったものは以下の項目でした。

◇「確かな学力」の項目から

- ・めあてとふりかえりを明確にした授業を構築すること
- ・学習支援として必要・適切な掲示物を活用して授業を行うこと
- ・児童に時間を守って行動する態度を身に付けさせること

◇「豊かな心」の項目から

- ・一人一人が認められる学級づくりをすること
- ・正しい言葉遣い、あいさつの習慣を身に付けさせること

◇「健やかな体」の項目から

- ・生涯体育と外遊びの推進をすること

◇「保護者・地域との関わり」

- ・明るく誠意をもって対応すること

子どもたちに臨む姿は、教職員の姿を見本にしてほしいと考えます。教職員が明るく元気に生き生きと学校生活を楽しんでいる姿を、常にお見せできるように今後も一丸となって取組を進めて参ります。

